



# CPE設置マニュアル

第2.2版

2 0 2 4 年 2 月  
東日本電信電話株式会社  
ビジネス開発本部  
クラウド&ネットワークビジネス部  
REIWAネットワークサービス担当

# 改版履歴

版数	改定日	主な改訂内容
第1.0版	2020年08月31日	初版
第1.1版	2020年10月29日	CPEタイプⅡ 提供開始に伴う改定
第1.2版	2021年1月26日	CPE回収キットに関する記載追記
第1.3版	2021年5月31日	・セキュアインターネット接続サービス提供開始に伴う改定 ・モバイル経由でのコントローラアクセスは不可とするため記載削除
第1.4版	2021年9月30日	ビジネスイーサ ワイド接続サービス提供開始に伴う改定
第1.5版	2021年10月29日	ハイエンドタイプ提供開始に伴う改定
第1.6版	2022年1月19日	・コントローラアップデートに伴う画像差し替え ・重要事項（CPEとONUを接続するCPEのポートはGE0/0/0で、CPEのポートを挿し間違えると故障となる可能性があること）を追記
第1.7版	2022年4月27日	・ひかり電話対応機器との接続に関する記載
第1.8版	2022年6月29日	・ひかり電話重畳（OGW、ビジネスフォン）の提供に伴う修正 ・CPE(タイプⅠ/Ⅱ)におけるマウントキット取付手順の追加
第1.9版	2022年9月29日	・ひかり電話重畳におけるCPEタイプⅡ 向けの提供に伴う修正
第2.0版	2023年3月24日	・ミドルタイプ提供に伴う修正
第2.1版	2023年12月1日	・GUI変更に伴う修正
第2.2版	2024年2月26日	・フレッツ・光クロス対応等に伴う修正

## 用語について

用語	説明
CPE	お客様宅内に設置するルータ。NTT東日本側から貸与します。
コントローラ	CPEへのconfig設定や状態管理を遠隔で行うシステム。
多要素認証	コントローラのログインID/ログインパスワードに加え、お客さまからのお申し込み時に記載いただいたメールアドレス宛にワンタイムパスワードを送付し認証することで、ログインID/ログインパスワード/ワンタイムパスワードと多要素で認証し、セキュリティを向上する認証方式。
ZTP	CPEを回線に接続するだけで、CPEにコンフィグ投入がされる動作。
タイプI	IIJ社のSIMカード。
タイプD	NTTドコモ社のSIMカード。
CPE回収キット	CPEをお客様からNTT東日本に返送していただくために、NTT東日本からお客様のCPE設置場所へ送付する物品。(CPEの故障交換時および廃止時に送付) お客様によりCPEをCPE回収キットに入れ、同梱される指定の宛先に返送いただくためのもの。 「梱包袋」、「ご案内状」、「着払い伝票」の3点で構成される。

## CPEの機種について

- CPEの機種はタイプ I /タイプ II /ハイエンドタイプ/ミドルタイプの3種類があります
- タイプ I : SIM非対応機種、タイプ II : SIM対応機種、ハイエンドタイプ: 高性能機種
- CPEの機種により一部作業が異なります
- ハイエンドタイプのみフレッツ・光クロスとの接続が可能です

□ …フレッツ回線との接続ポート

### タイプ I の外観



### ハイエンドタイプの外観

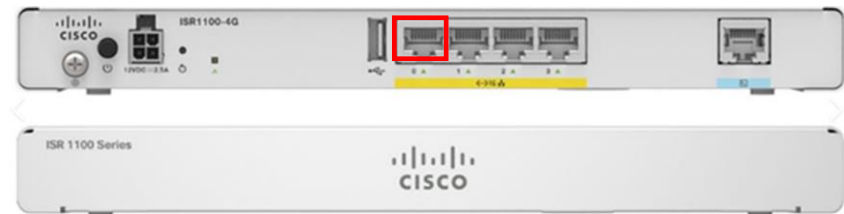


フレッツ・光クロスを利用する場合はこのポートに接続します

### タイプ II の外観



### ミドルタイプの外観



※CPEには白いシールを貼っております。故障申告の際に必要なCPE IDをご記載ください。

## 主な作業のながれ

・CPE設置作業は以下のフローで実施していきます

CPEの電源を入れてしまった場合、  
**一度電源ボタンを長押しして**  
**CPEの電源を落として作業を実施してください。**

CPE受領/開封  
CPEの電源は入れないこと

(モバイルをご利用のお客様のみ実施)  
・SIM挿入  
・アンテナ取付け

P6-9参照

(フレッツ・光クロスをご利用のお客様のみ実施)  
・SFPMジュール挿入

P10参照

回線とCPEの接続

P11-16  
参照

CPEの電源起動

P17-18  
参照

コントローラからCPEの状態確認

P19-23  
参照

完了

【重要事項】  
CPEとONUを接続するCPEのポートは  
**GE0/0/0**です。  
※ハイエンドタイプでフレッツ・光クロスを利用する  
場合はCPEとONUを接続するポートは**TE0/0/5**  
です。

間違えないように接続をお願いいたします。  
**CPEが故障し交換が必要となる可能性があります。**

# タイプ II を利用する場合の事前準備(1/2)

## タイプ II を利用する場合の事前準備(1/2)

- ・アンテナを取り付けます
- ・以下の手順を実施してください

### 付属アンテナの外観



### 手順①

アンテナ取付け箇所にアンテナを取り付けてください

アンテナ取付け箇所

アンテナ取付け箇所



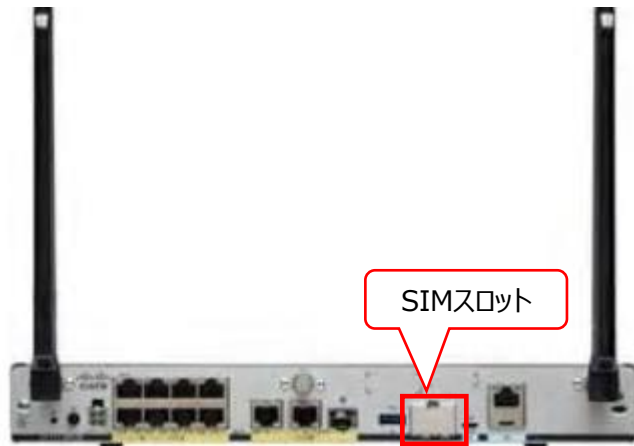
矢印方向に回転させる



## タイプIIを利用する場合の事前準備(2/2)

- SIMスロットにSIMを挿入します
- 以下の手順を実施してください

### SIMスロットの位置



### 手順②

SIMスロットのカバーをはずします



でっぱり部分を下方方向に押しながらカバーを手前に引っ張ります  
※固いのでドライバーなどの利用推奨

### 手順③

スロットにSIMを挿入します

※SIMのタイプにより挿入するスロットが異なります



スロット1(上)	利用なし
スロット0(下)	タイプD、タイプI

# ハイエンドタイプかつSIMを利用する場合の事前準備(1/2)

## ハイエンドタイプかつSIMを利用する場合の事前準備(1/2)

- ・SIMスロットにSIMを挿入します
- ・以下の手順を実施してください

### 手順①

- ・ネジをドライバーでゆるめる
- ・赤枠部分のモジュールを引き抜きます



### 手順②

モジュール側面のネジをゆるめ、蓋を外します



### 手順③

スロット0にSIMを挿入します



### 手順④

手順①-③の逆順でSIMを挿入したモジュールを元に戻します



## ハイエンドタイプかつSIMを利用する場合の事前準備(2/2)

- ・アンテナを取り付けます
- ・以下の手順を実施してください

### 付属アンテナの外観



### 手順⑤

アンテナ取付け箇所アンテナを取り付けてください



## ハイエンドタイプかつフレッツ・光クロスを利用する場合の事前準備

- ・ハイエンドタイプと合わせて送付されているSFPモジュール2個をハイエンドタイプに搭載します

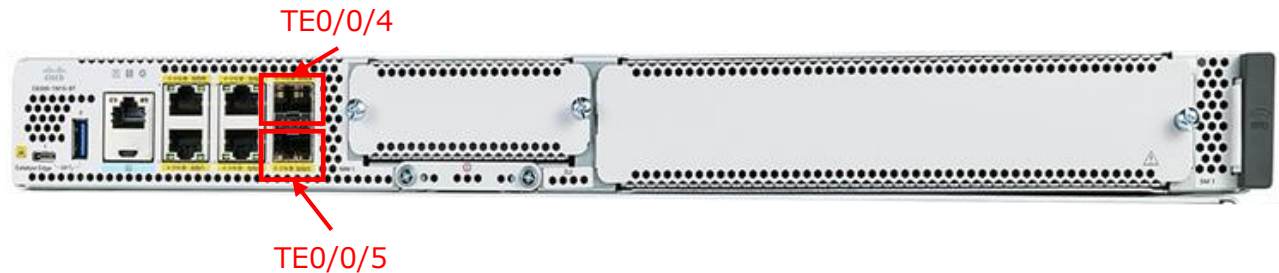
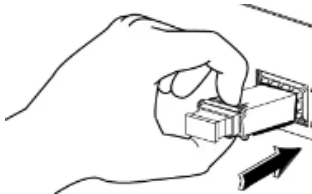
### SFPモジュールの外観

ラベル



### 手順①

- ・赤枠の2ポート(TE0/0/4,0/0/5)にSFPモジュールを搭載します
- ※TE0/0/4はラベルを下向き、TE0/0/5はラベルを上向き



## 回線とCPEを接続する方法

- CPEの配線作業を行います
  - 以下の手順を実施してください
- ※フレッツ 光ネクストまたはビジネスイーサ ワイドを利用せず、モバイルのみで利用する場合は本作業はスキップしてください
- ※ONU以外と接続する場合は次ページ以降を参照してください。

### 【重要事項】

CPEとONUを接続するCPEのポートは

**GE0/0/0**です。

※ハイエンドタイプでフレッツ・光クロスを利用する場合はCPEとONUを接続するポートは**TE0/0/5**です。

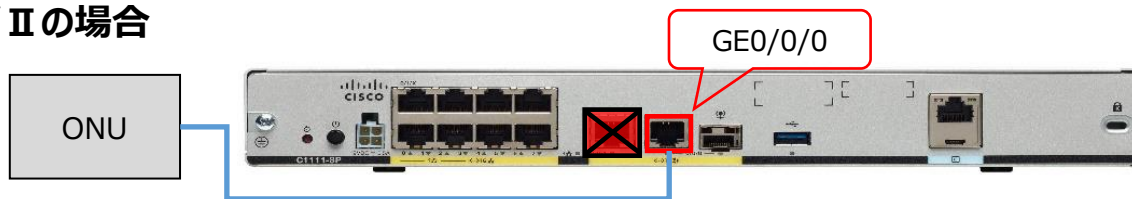
間違えないように接続をお願いいたします。

**CPEが故障し交換が必要となる可能性があります。**

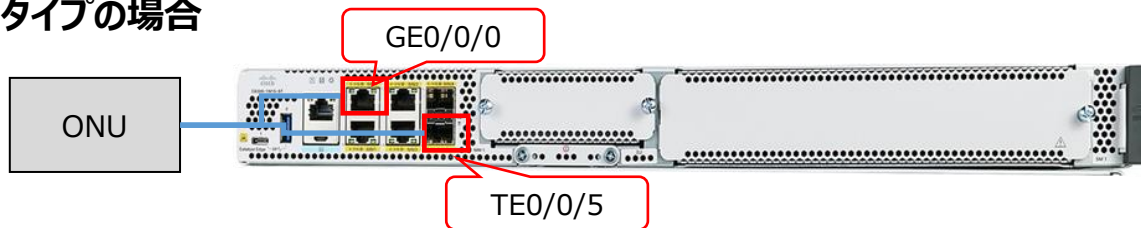
### 手順①

CPEのGE0/0/0とフレッツ 光ネクストまたはビジネスイーサ ワイドのONUを付属のLANケーブルを用いて接続します

#### タイプⅠ/Ⅱの場合



#### ハイエンドタイプの場合



#### ミドルタイプの場合



## CPEの接続方法 (HGWの場合)

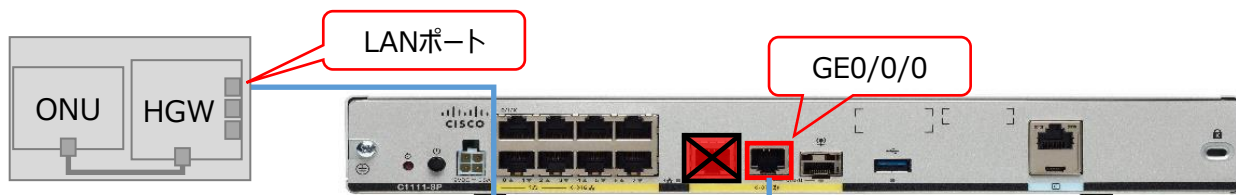
ひかり電話をご利用頂いているアクセスサービスでManaged SD-WANをご利用される場合、CPEとひかり電話対応機器との接続が必要となります。接続方法は下記の通りです。他の接続状態での動作保証は致しかねますのでご了承ください。

### 【ひかり電話対応機器 (HGW) との接続】

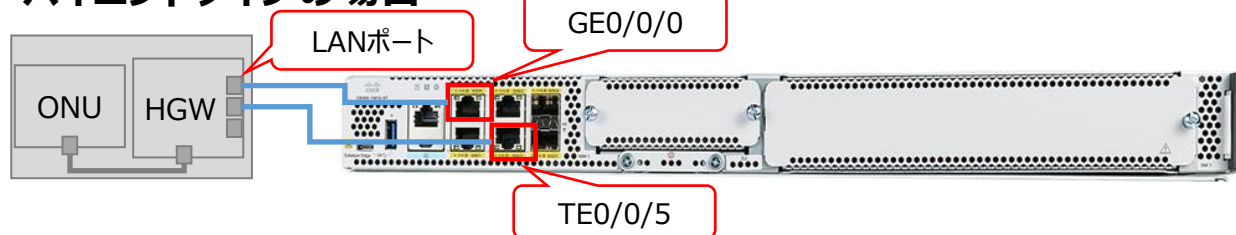
※下図はONU一体型の場合の例。ひかり電話ルータ単体の場合も、ひかり電話のLANポートに接続ください。

CPEとひかり電話のLANポートを付属のLANケーブルを用いて接続します

#### タイプ I / II の場合



#### ハイエンドタイプの場合



#### ミドルタイプの場合



#### 【重要事項】

CPEとHGWを接続するCPEのポートは**GE0/0/0**です。

※ハイエンドタイプでフレッツ・光クロスを利用する場合はCPEとHGWを接続するポートは**TE0/0/5**です。

間違えないように接続をお願いいたします。

**CPEが故障し交換が必要となる可能性があります。**

#### 【重要事項】

##### <対応機種 (HGWについて)>

CPEと接続可能なひかり電話対応機器は下記の通りです。他機器をご利用中の場合は、端末変更の実施をお願いします。

- ・PR-500KI/PR-500MI
- ・RT-500KI/RT-500MI
- ・RS-500KI/RS-500MI
- ・PR-600KI/PR-600MI
- ・RX-600KI/RX-600MI

##### <HGWの設定について>

- ・HGWでは各設定に制約があります。詳細については13ページを参照してください。
- ・HGWの機種の場合は以下のサイトをご参考ください。  
[https://web116.jp/shop/hikari\\_r/guide/500ki/index/index.html](https://web116.jp/shop/hikari_r/guide/500ki/index/index.html)

##### <その他留意事項>

- ・既にご利用中のManaged SD-WANに対して、ひかり電話契約追加および廃止をされる場合は、工事の後にCPEの再起動が必要となります。
- ・HGW配下にはCPEのみを接続した構成を推奨します、他の機器が接続されていると正常にZTPが完了しない恐れがあります

## 【参考】HGWの重畳利用時における設定について

- ・CPE上部のHGW重畳利用時には設定に制約があります。HGW重畳利用時は、以下の表の各設定項目をご確認ください。
  - ・ISP事業者とIPoE契約がある回線(VNE契約のある回線)はひかり電話重畳不可となります。
- ※インターネットブレイクアウト用途でISP契約をしている場合、IPoE契約が付随していないかをご確認お願い致します

## HGW重畳利用時の設定の場合

カテゴリ	機種名	ひかり電話	オフィス向けひかり電話		設定項目				
			ひかり電話 オフィス タイプ	ひかり電話 オフィスA	IPv4 PPPoE	IPv6 PPPoE	セキュリティ、 ファイアウォール (初期値)	ルーティング等 (初期値)	PPPoE ブリッジ (初期値)
HGW	PR-500KI、 PR-500MI	○	-	-	設定 しない	設定 しない	IPv6ファイアウォール ・IPv6ファイアウォール 機能の設定変更は利用 できません。設定変 更を行った場合、通 信が出来なくなります。 (HGWデフォルト設 定であれば問題なし。 デフォルト設定「有 効」)	IPv6ポリシールーティング (IPv6パケットフィルタ設 定) ・IPv6ポリシールーティ ング機能の設定変更は利用 できません。設定変更を行 った場合、通信が出来な くなります。 (デフォルト設定であれば 問題なし。セキュリティレ ベル設定「標準」・パケッ トフィルタ「空欄」)	有効 (デフォ ルト設 定であ れば問 題なし。 デフォ ルト設 定「使 用す る」)
	RT-500KI、 RT-500MI	○	-	-					
	RS-500KI、 RS-500MI	○	-	-					
	PR-600KI、 PR-600MI	○	-	-					
	RX-600KI、 RX-600MI	○	-	-					

## CPEの接続方法 (OGW/ビジネスフォンの場合)

ひかり電話をご利用頂いているアクセスサービスでManaged SD-WANをご利用される場合、CPEとひかり電話対応機器との接続が必要となります。接続方法は下記の通りです。他の接続状態での動作保証は致しかねますのでご了承ください。

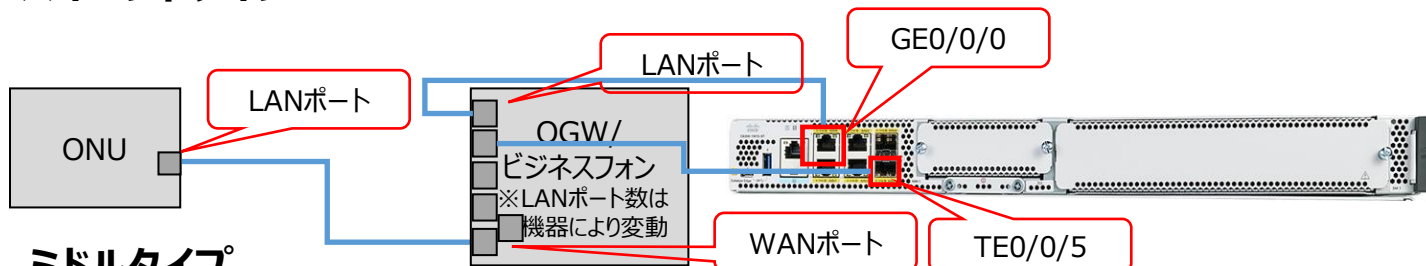
### 【ひかり電話対応機器 (OGW、ビジネスフォン) との接続】

CPEとひかり電話のLANポートを付属のLANケーブルを用いて接続します

#### タイプ I / II



#### ハイエンドタイプ



#### ミドルタイプ



#### 【重要事項】

CPEとOGW/ビジネスフォンを接続するCPEのポートは**GE0/0/0**です。  
※ハイエンドタイプでフレッツ・光クロスを利用する場合はCPEとOGW/  
ビジネスフォンを接続するポートは**TE0/0/5**です。

間違えないように接続をお願いいたします。

**CPEが故障し交換が必要となる可能性があります。**

#### 【重要事項】

<対応機種 (OGW、ビジネスフォン) について>

CPEと接続可能なひかり電話対応機器は下記の通りです。他機器をご利用中の場合は、端末変更の実施をお願いします。

#### 【OGW】

- ・OG 410/810 (Xa, Xi共に利用可)
- ・OG 420/820 (Xa, Xi共に利用可)
- ・OG 2300Xi / OG 2310Xi
- ・VG 430/830
- ・VG-X
- ・VG2330X<1> / VG2330X<2>

#### 【ビジネスフォン】

- ・NXSM-4BRU<2>
- ・NXSM-4BRU<3>
- ・ZXSM-4BRU
- ・ZXL-100BRU
- ・αA1 Standard
- ・αA1 Professional

#### <OGW、ビジネスフォンの設定について>

・OGW、ビジネスフォンでは各設定に制約があります。詳細については15,16ページを参照してください。

#### <その他留意事項>

・既にご利用中のManaged SD-WANに対して、ひかり電話契約追加および廃止をされる場合は、工事の後にCPEの再起動が必要となります。  
・OGW/ビジネスフォン配下にはCPEのみを接続した構成を推奨します、他の機器が接続されていると正常にZTPが完了しない恐れがあります

## 【参考】OGWの重畳利用時における設定について

CPE上部のOGW重畳利用時には設定に制約があります。OGW重畳利用時は、以下の表の各設定項目をご確認ください。

・ISP事業者とIPoE契約がある回線(VNE契約のある回線)はひかり電話重畳不可となります。

※インターネットブレイクアウト用途でISP契約をしている場合、IPoE契約が付随していないかをご確認お願い致します

### OGW重畳利用時の設定の場合

カテゴリ	機種名	マス向け ひかり電話	オフィス向けひかり電話		設定確認					
			ひかり 電話 オフィス タイプ	ひかり 電話 オフィス A	IPv4 PPPoE	IPv6 PPPoE	セキュリティ、 ファイアウォール等 (初期値)	ルーティング等 (初期値)	PPPoE ブリッジ (初期 値)	
OGW	OG 410/810 (Xa,Xiは共通)	-	○	○	設定 しない	機能 なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ WANIF設定 セキュリティ設定 [v6 セキュリティレベル] (初期値：標準)</li> <li>■ IPv6 フィルタリングエントリ (初期値：空欄)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ IPv6 ルーティン グルーティング機能 (初期値：有 効)</li> <li>■ IPv6 スタティック ルーティング送信先 ルーティングテーブル (初期値：空 欄)</li> </ul>	有効	
	OG 420/820 (Xa,Xiは共通)	-	○	○						
	OG 2300Xi	-	○	○						
	OG 2310Xi	-	○	○			[ネットワーク設定]-[フィルタリング設定]	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ IPv6スタティック ルーティング設定 (初期値：空欄)</li> </ul>	使用する	
	VG 430/830	-	-	○			機能なし			IPv6ブリッジ、PPPoEブリッジは、 常に有効な状態。 (WebGUI上設定項目なし)
	VG-X	-	-	○						
	VG2330X<1>	-	-	○				機能なし	使用する	
	VG2330X<2>	-	-	○						

# CPE設置までの手順(6/6)

## 【参考】ビジネスフォンの重畳利用時における設定について

- ・CPE上部のビジネスフォン重畳利用時には設定に制約があります。ビジネスフォン重畳利用時は、以下の表の各設定項目をご確認ください。
- ・ISP事業者とIPoE契約がある回線(VNE契約のある回線)はひかり電話重畳不可となります。
- ※インターネットブレイクアウト用途でISP契約をしている場合、IPoE契約が付随していないかをご確認お願い致します

### ビジネスフォン重畳利用時の設定の場合

カテゴリ	機種名	マス向けひかり電話	オフィス向けひかり電話		設定確認				
			ひかり電話 オフィスタイプ	ひかり電話 オフィスA	IPv4 PPPoE	IPv6 PPPoE	セキュリティ、 ファイアウォール等 (初期値)	ルーティング等 (初期値)	PPPoE ブリッジ (初期値)
ビジネス フォン	NXSM-4BRU<2>	○	○	○	設定 しない	機能 なし	機能なし	機能なし	有効
	NXSM-4BRU<3>	○	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>■セキュリティ設定 [v6セキュリティレベル] (初期値：標準) [ステートフル・インスペクション] (初期値：有効) [攻撃検出] (初期値：有効)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■IPv6 ルーティング [ダイナミックルーティング機能] (初期値：無効) [スタティックルーティング機能] (初期値：有効) [スタティックルーティングテーブル] (初期値：空欄)</li> <li>■IPv6フィルタリング (初期値：有効) IPv6フィルタリングテーブル (初期値：空欄)</li> </ul>	
	ZXSM-4BRU	○	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>■IPv6 ルーティング [スタティックルーティング機能] (初期値：有効) [スタティックルーティングテーブル] (初期値：空欄)</li> <li>■IPv6フィルタリング (初期値：有効) IPv6フィルタリングテーブル (初期値：空欄)</li> </ul>		
	ZXL-100BRU	○	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ルータ関連 [ステートフル・インスペクション] (初期値：有効) [攻撃検出] (初期値：有効)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ルータ関連 [フィルタルール] (初期値：無効)</li> </ul>	
	aA1 Standard	○	○	○					
	aA1 Professional	○	○	○					



# コントローラログインまでの手順(1/7)

## CPEの電源起動

- CPEの電源を起動します
- 以下の手順を実施してください

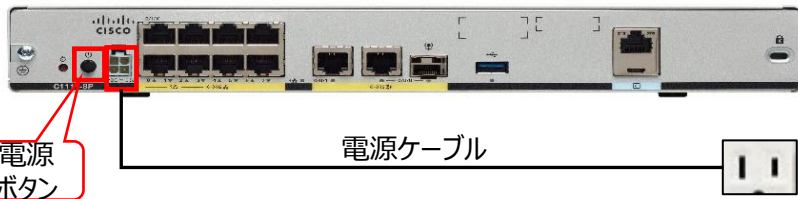
### 【注意事項】

- 電源ケーブルは必ず強く差し込んで下さい(アダプタ部分含む)
- 電源ケーブルは平坦な場所に置き、重力等の負荷がかからないようにして下さい

### 手順①

CPEを電源に接続し、電源ボタンをおしてCPEを起動します

#### タイプ I / II の場合

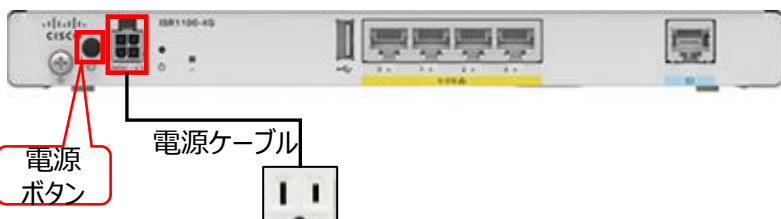


#### ハイエンドタイプの場合



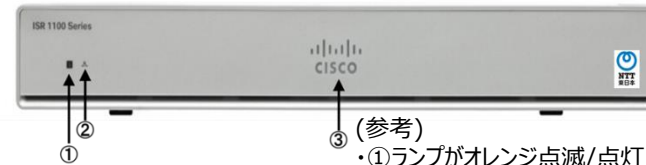
※電源は両系利用が推奨ですが、片系のみでも起動可能となります

#### ミドルタイプの場合



### 確認ポイント

- ① ランプが緑点灯
  - ③ ランプが青点灯していればCPEが正常に動作している状態です
- ※正常に開通完了するまで約30分かかります



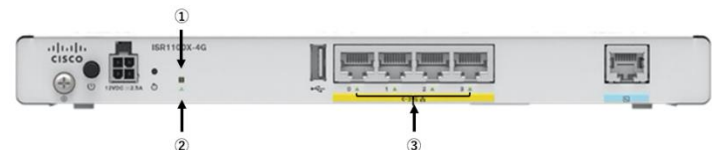
### 確認ポイント

- ① ランプがブルー点灯
  - ②③④ ランプが緑点灯していればCPEが正常に動作している状態です
- ※正常に開通完了するまで約30分かかります



### 確認ポイント

- ① ランプがグリーン点灯
- ※正常に開通完了するまで約30分かかります



## CPEの状態確認

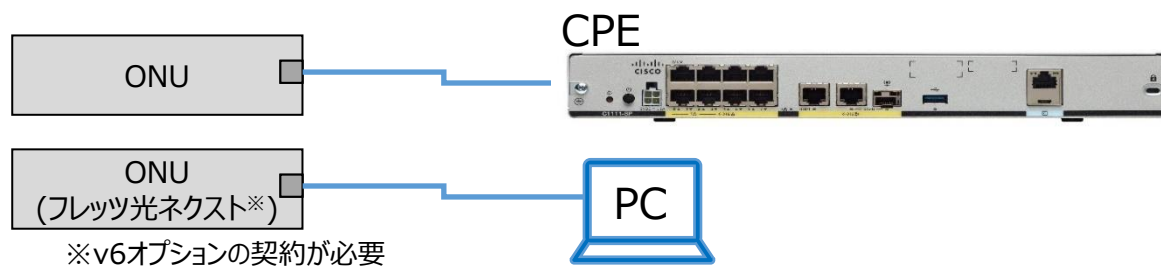
- ・CPEが正常に開通できているかをコントローラから確認します
- ・CPE下部からはコントローラにアクセスできないため、下記(1)(2)いずれかの構成でPCを接続してください

### 手順①

以下のような構成でPCを接続します

### 構成(1)

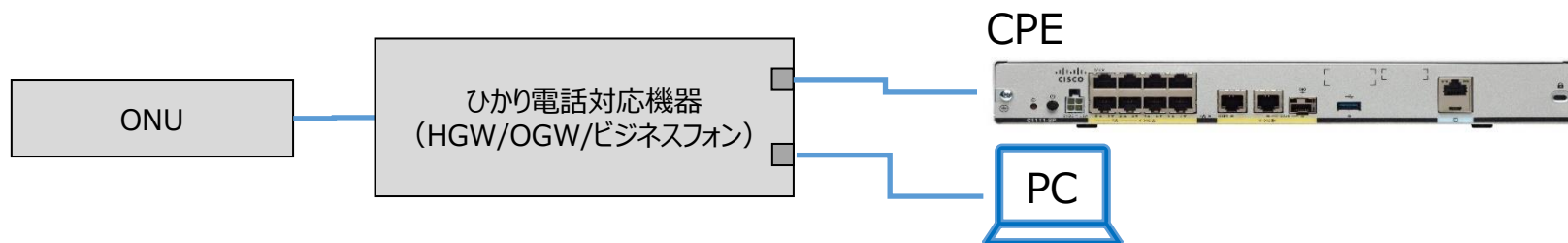
Managed SD-WANをご利用されている回線とは別のフレッツ 光ネクストのONU下部にPCを接続



### 構成(2)

ひかり電話対応機器 (HGW、OGW、ビジネスフォン) 下部にPCを接続

※ONU配下からOGW/ビジネスフォン (VGシリーズ除く) 接続でコントローラへアクセスする場合、コントローラへのログインURLのドメインを変更する必要があります。詳細については次ページを参照ください。



## コントローラログインまでの手順(3/7)

### 手順②

・開通のご案内に記載してあるURLへアクセスします

※ブラウザは「Google Chrome」、「Mozilla Firefox」が推奨です、推奨ブラウザ以外では正常にアクセスできない可能性があります

※ ONU配下からOGW/ビジネスフォン（VGシリーズ除く）接続でコントローラへアクセスする場合、コントローラへのログインURLのドメインを以下に修正してください

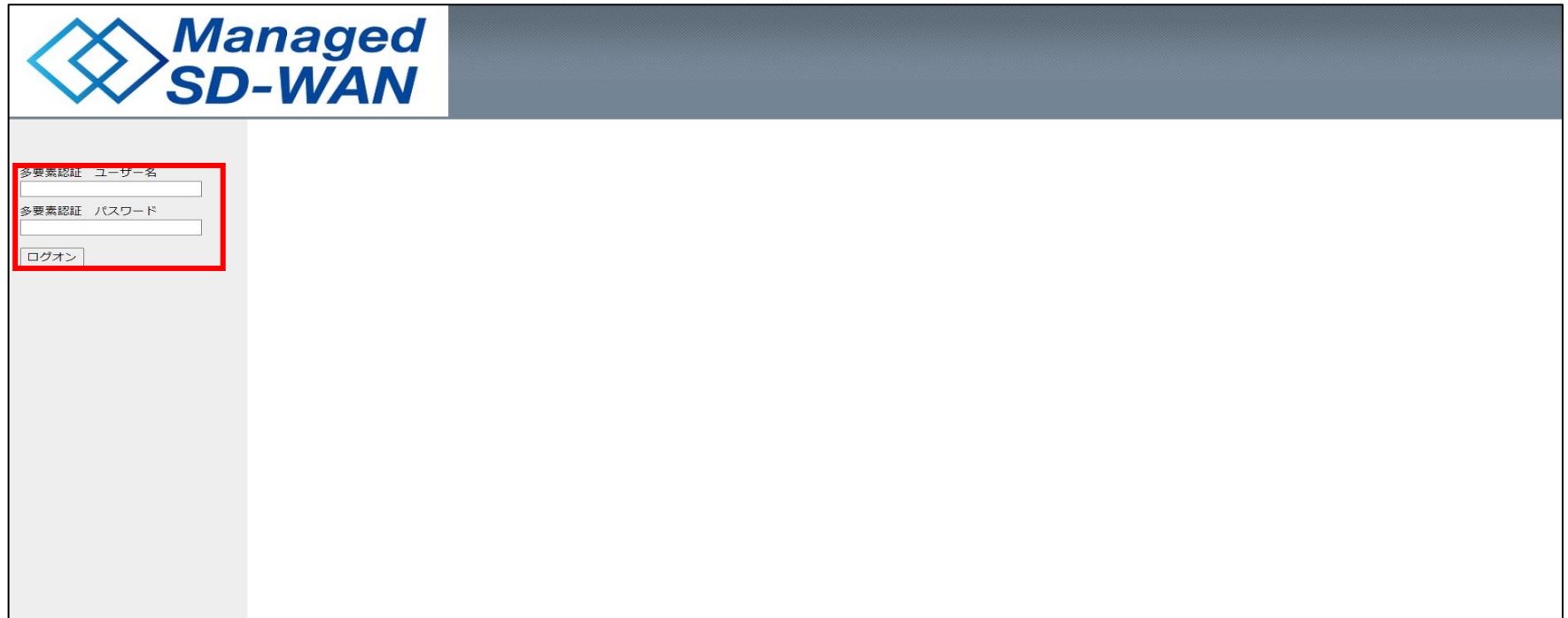
（申込書に記載されているログイン用URLの「～nttnws.jp」を以下に修正）

-東日本エリアから接続の場合：「～flets-east.jp」に修正

-西日本エリアから接続の場合：「～cast.flets-west.jp」に修正

・以下の画面に遷移するので多要素認証ユーザ名/パスワードを入力する

※ユーザ名/パスワードはお客さまから申込書に記載頂いた情報となります



Managed  
SD-WAN

多要素認証 ユーザー名

多要素認証 パスワード

ログオン

### 手順③

・以下の画面に遷移するのでワンタイムパスワードを入力する

※ワンタイムパスワードは申込書に記載頂いたメールアドレスに通知されます



Managed  
SD-WAN

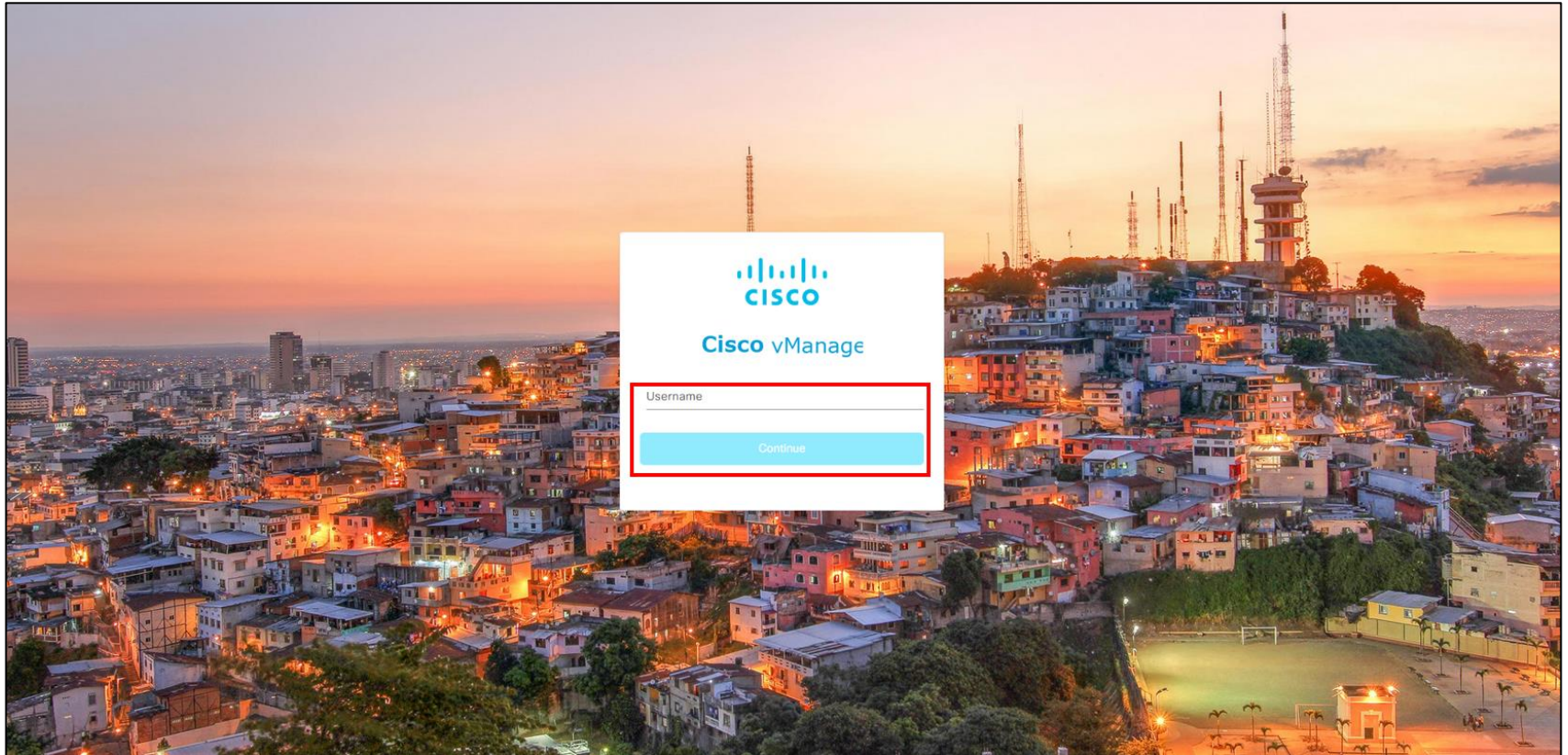
F5 Networks

パスワード

ログオン

## 手順④

- 以下の画面(コントローラログイン画面)に遷移するのでユーザ名/PWを入力
- ※ユーザ名/PWは申込書に記載頂いた情報となります



# コントローラログインまでの手順(6/7)

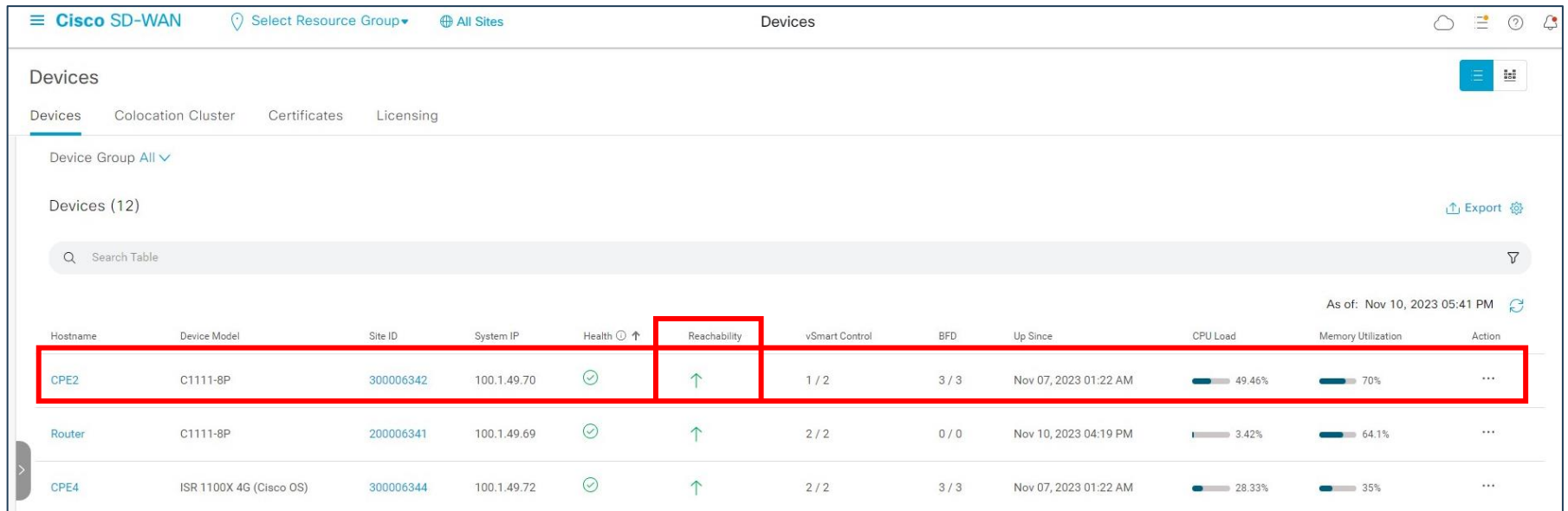
## 手順⑤

・左ペインのmonitorからを選択し、以下の画面を表示する

## 確認ポイント

・今回接続したCPEの「Reachability」が「↑」になっていれば正常です

※CPEの状態がコントローラ上に反映されるまでCPEの電源起動から約10分かかります



The screenshot displays the Cisco SD-WAN interface for monitoring devices. The table lists various devices with their status and reachability. The 'Reachability' column for the first device, 'CPE2', is highlighted with a red box, indicating a successful connection (upward arrow).

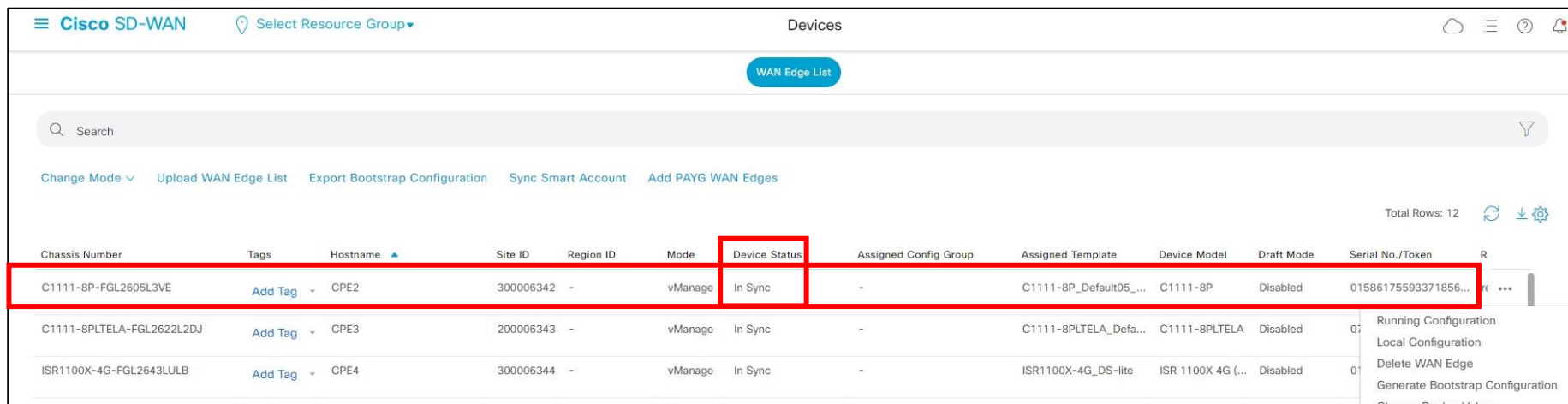
Hostname	Device Model	Site ID	System IP	Health	Reachability	vSmart Control	BFD	Up Since	CPU Load	Memory Utilization	Action
CPE2	C1111-8P	300006342	100.1.49.70	🟢	↑	1 / 2	3 / 3	Nov 07, 2023 01:22 AM	49.46%	70%	...
Router	C1111-8P	200006341	100.1.49.69	🟢	↑	2 / 2	0 / 0	Nov 10, 2023 04:19 PM	3.42%	64.1%	...
CPE4	ISR 1100X 4G (Cisco OS)	300006344	100.1.49.72	🟢	↑	2 / 2	3 / 3	Nov 07, 2023 01:22 AM	28.33%	35%	...

## 手順⑥

・左ペインのConfigurationからDevicesを選択し、以下の画面を表示する

## 確認ポイント

- ・今回接続したCPEの「Device Status」が「In Sync」になっていれば正常です
- ※CPEの状態がコントローラ上に反映されるまでCPEの電源起動から約10分かかります
- ※In Syncとならない場合はコントローラ設定マニュアルの5.1章を参照してください



The screenshot shows the Cisco SD-WAN interface for the 'Devices' page. A table lists several devices, with the first row highlighted in red. The 'Device Status' column for this row is also highlighted with a red box.

Chassis Number	Tags	Hostname	Site ID	Region ID	Mode	Device Status	Assigned Config Group	Assigned Template	Device Model	Draft Mode	Serial No./Token	R
C1111-8P-FGL2605L3VE	Add Tag	CPE2	300006342	-	vManage	In Sync	-	C1111-8P_Default05_...	C1111-8P	Disabled	01586175593371856...	...
C1111-8PLTELA-FGL2622L2DJ	Add Tag	CPE3	200006343	-	vManage	In Sync	-	C1111-8PLTELA_Defa...	C1111-8PLTELA	Disabled	0...	...
ISR1100X-4G-FGL2643LULB	Add Tag	CPE4	300006344	-	vManage	In Sync	-	ISR1100X-4G_DS-lite	ISR 1100X 4G (...)	Disabled	0...	...

## CPE設置手順が上手くいかない場合

- ・症状に応じた対処を実施してください
- ・合致する症状がない場合/対処しても上手くいかない場合は下記電話番号までご連絡お願い致します

症状	対処方法
コントローラにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"><li>・CPE下部にPCを接続していないか →P18参照</li><li>・PCが「IPv6アドレスを自動取得する」の設定になっているか確認する →P25参照</li><li>・推奨のブラウザを利用しているか →P19参照</li></ul>
コントローラ上にCPEが表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>・CPEが正常に起動していない可能性があります、ランプ状態を確認して下さい →P17参照</li><li>・コントローラ上の表示にCPEが反映されるまで時間がかかることがあるため、数分お待ち頂けると反映されることがあります</li></ul>
CPEが正常に起動していない	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源ボタンを押し直してCPEの再起動を実施して下さい →P17参照</li></ul>

上記対処を実施してもCPE開通が上手くいかない際は「NTT東日本 SDWAN故障受付」に  
ご連絡お願い致します(Tel: 0120-088-275)

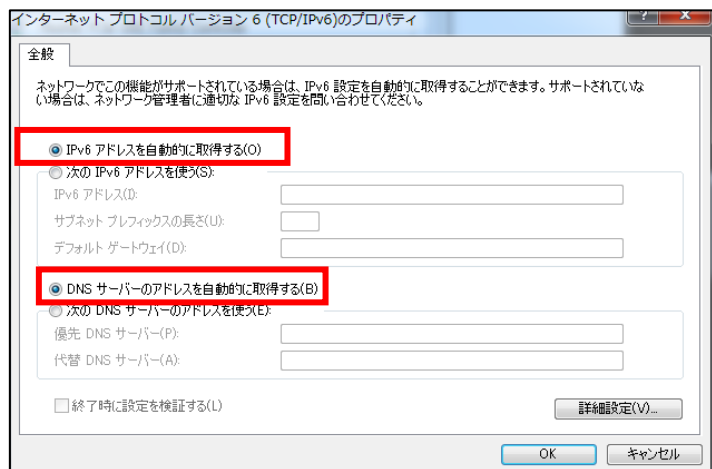


## PCのIPアドレス設定

- ・コントローラにアクセスするためにはPCのIPアドレスが正しく設定されている必要があります
- ・以下の手順でPCのIPアドレスの設定をご確認ください

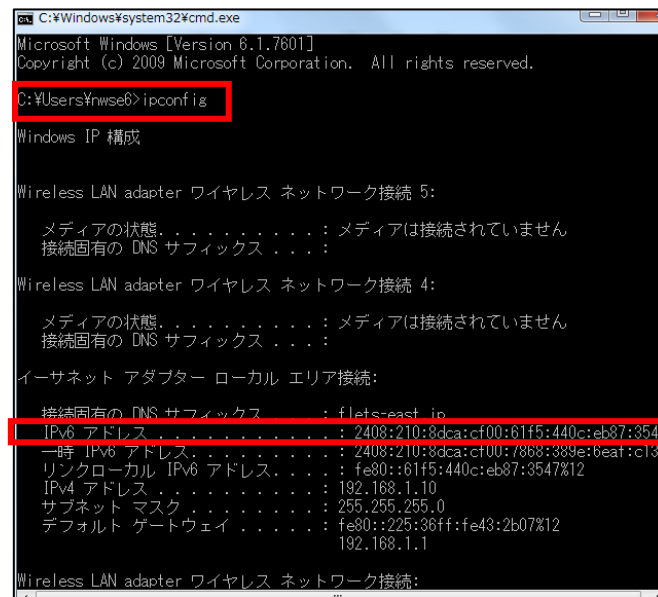
### 手順

コントロールパネル→ネットワークとインターネット  
ネット→ネットワークと共有センターから  
ローカルエリア接続のプロパティを開き、  
「IPv6アドレスを自動的に取得する」、  
「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」を選択する



### 確認ポイント

コマンドプロンプトにてipconfigコマンド  
を入力しIPv6アドレスが取得できているか確認する



※セキュアインターネット接続の場合は、  
ISPのDNSサーバを設定ください

# (参考)モバイル通信の正常性確認方法

## (参考)モバイル通信の正常性確認方法

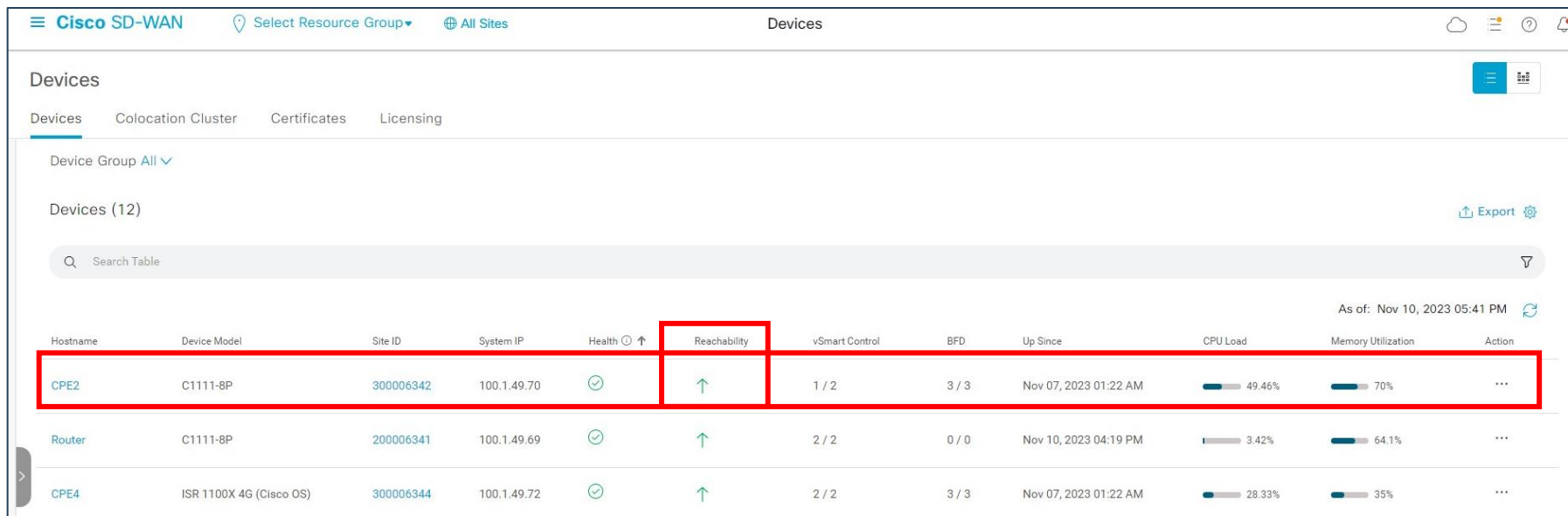
フレッツ光ネクスト及びモバイル接続サービスを利用している場合のモバイル通信の正常性確認方法は以下となります

### 手順

- ・CPEのGE0/0/0のケーブルを抜去する
- ・左ペインのmonitorからnetworkを選択し、以下の画面を表示する

### 確認ポイント

- ・今回接続したCPEの「Reachability」が「↑」になっていれば正常です



The screenshot displays the Cisco SD-WAN management interface. The main content area shows a table of devices with columns for Hostname, Device Model, Site ID, System IP, Health, Reachability, vSmart Control, BFD, Up Since, CPU Load, Memory Utilization, and Action. The 'Reachability' column for the CPE2 device is highlighted with a red box, showing an upward arrow (↑) indicating successful connectivity.

Hostname	Device Model	Site ID	System IP	Health	Reachability	vSmart Control	BFD	Up Since	CPU Load	Memory Utilization	Action
CPE2	C1111-8P	300006342	100.1.49.70	🟢	↑	1 / 2	3 / 3	Nov 07, 2023 01:22 AM	49.46%	70%	⋮
Router	C1111-8P	200006341	100.1.49.69	🟢	↑	2 / 2	0 / 0	Nov 10, 2023 04:19 PM	3.42%	64.1%	⋮
CPE4	ISR 1100X 4G (Cisco OS)	300006344	100.1.49.72	🟢	↑	2 / 2	3 / 3	Nov 07, 2023 01:22 AM	28.33%	35%	⋮

# (参考)CPEの故障交換および廃止時のCPE返送方法(タイプⅠ/タイプⅡ/ハイエンド/ミドル共通)

## (参考) CPEの故障交換および廃止時のCPE返送方法(タイプⅠ/タイプⅡ/ハイエンド/ミドル共通)

故障交換および拠点廃止により不要となったCPEの返送方法は以下となります(タイプⅠ/タイプⅡ/ハイエンド/ミドル共通)

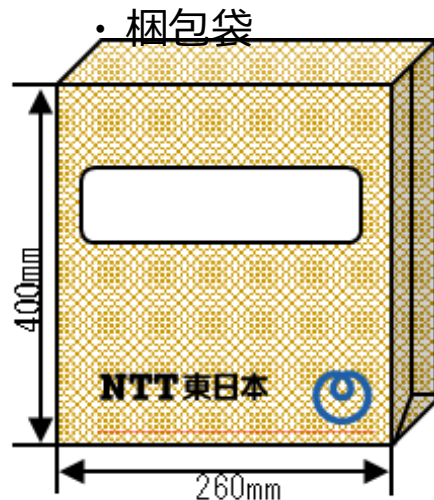
### 手順

- 拠点廃止申込から5営業日程度で「CPE回収キット」をCPE設置場所住所宛に配送します。
- CPE回収キットを受領後、「梱包袋」「ご案内状」「着払い伝票」が同梱されていることをご確認ください、ご案内状の内容をご参照の上、CPEを返送をさせていただきますようお願いいたします。
- ※回収キットは他サービスと共通となっております。そのため梱包袋が入っておりますが、梱包袋にはCPEが入らないため、お客様にて段ボールをご準備のうえでご返送ください。
- 故障受付窓口での故障交換手配の場合は、新しいCPEの箱に「着払い伝票」が貼付されております。CPE交換後、新しいCPEが入っていた箱に故障したCPEを入れ「着払い伝票」にて発送願います。
- ※ハイエンドの場合、SFPモジュールが2個付属しておりますので、必ずSFPモジュールも同梱して返送願います。

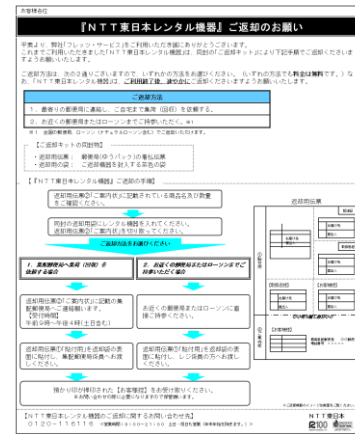
### 注意点 (お願い)

- CPE回収キットの発送日から21日以内に返送いただけていない場合、「回収督促状」(返却のご案内書)をハガキで郵送させていただきます。何卒速やかな返送にご協力くださいますようお願いいたします。

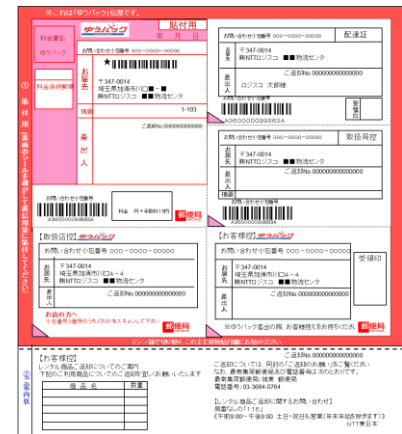
**回収キット 同梱物イメージ** ※実物はイメージと異なる場合がございます。ご了承下さい。



### ・ ご案内状



### ・ 着払い伝票



## (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

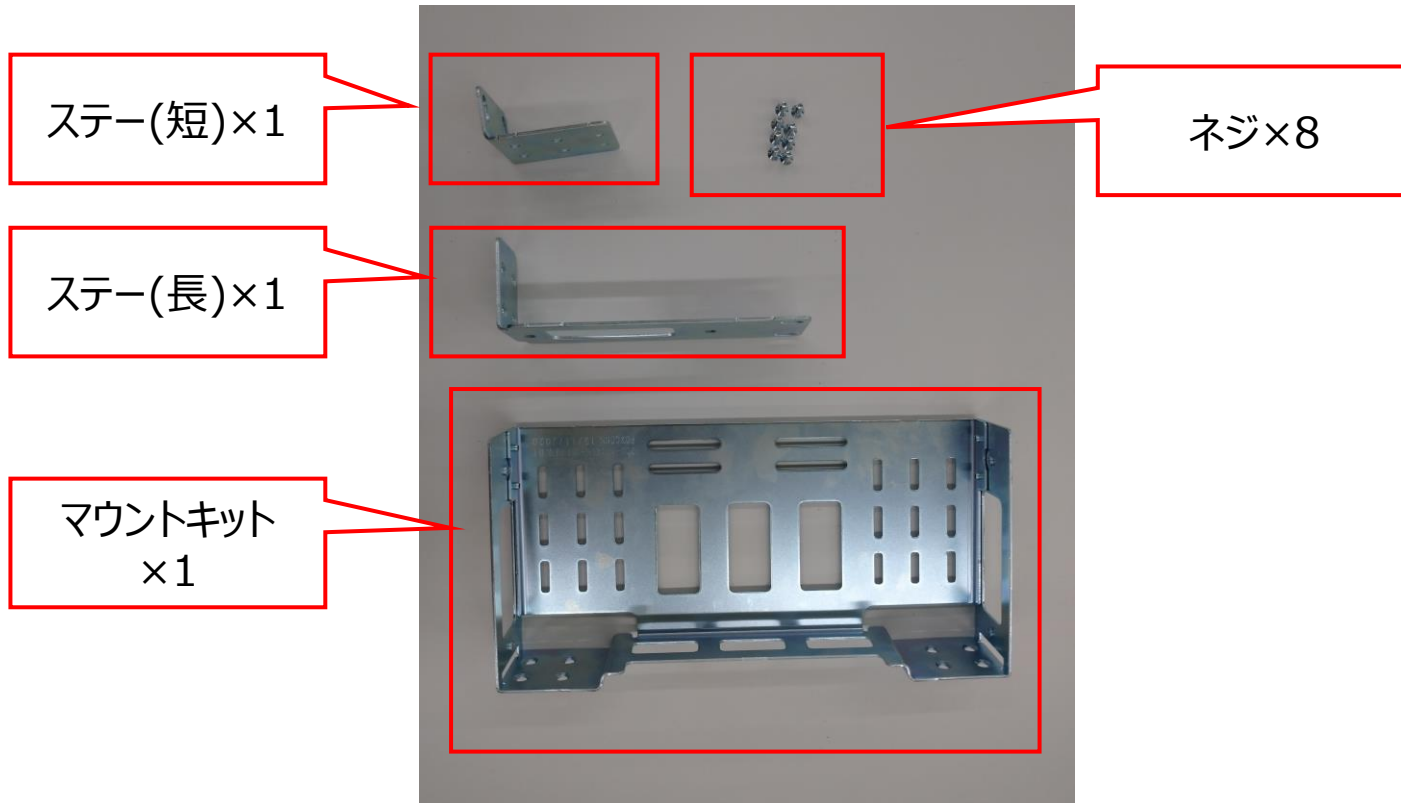
### (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

タイプ I / II ヘラックマウントキットを取り付ける手順は下記となります

#### 手順①

ラックマウントキットの構成品を確認します(以下物品が揃っていることを確認します)

必要な工具: No.2ドライバー



## (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

### (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

タイプ I / II へラックマウントキットを取り付ける手順は下記となります

#### 手順②

CPE側面のネジを8か所外します



## (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

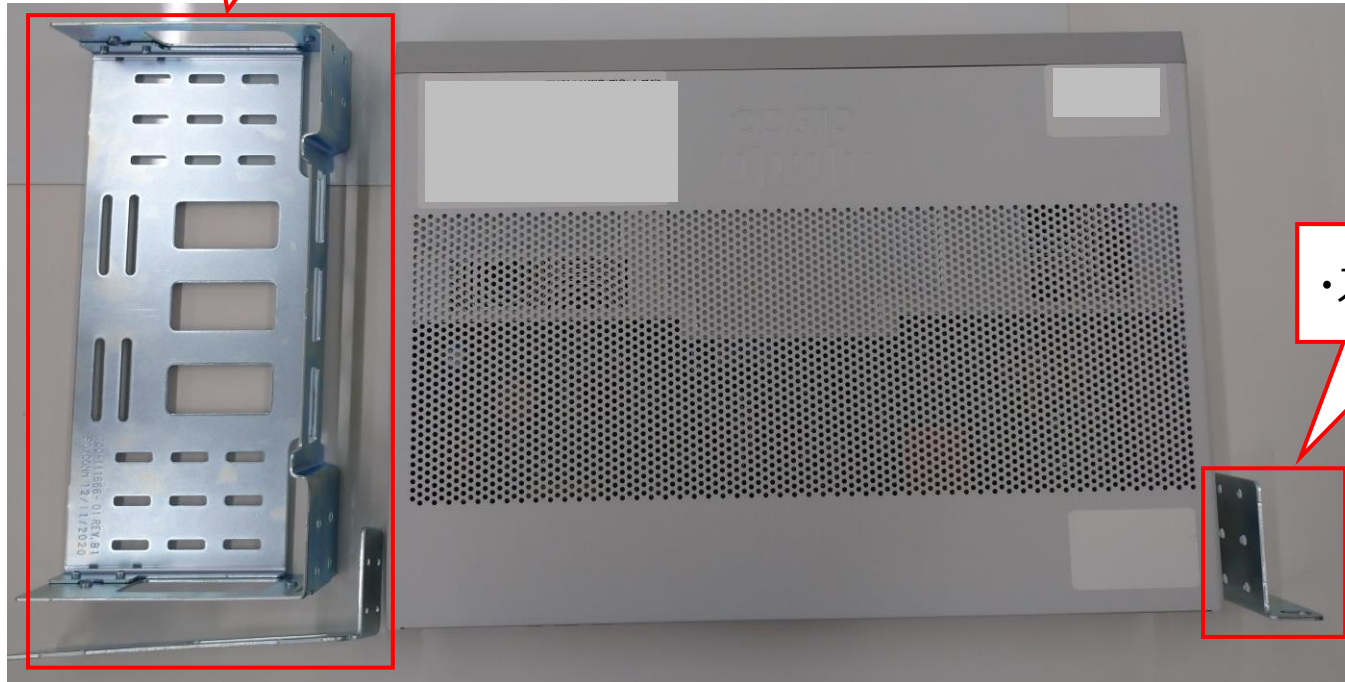
### (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

タイプ I / II へラックマウントキットを取り付ける手順は下記となります

#### 手順③

下記のイメージでCPE側面へマウントキット/ステー(長)/ステー(短)をネジ止めします

・マウントキット  
・ステー(長)



・ステー(短)

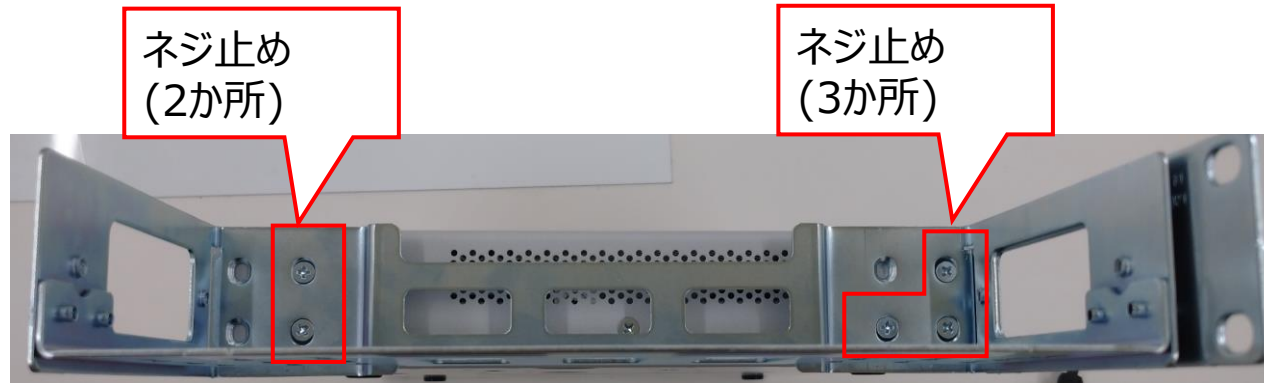
## (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

### (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

タイプ I / II へラックマウントキットを取り付ける手順は下記となります

#### 手順④

下記のようにネジ止めします(8か所)



## (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

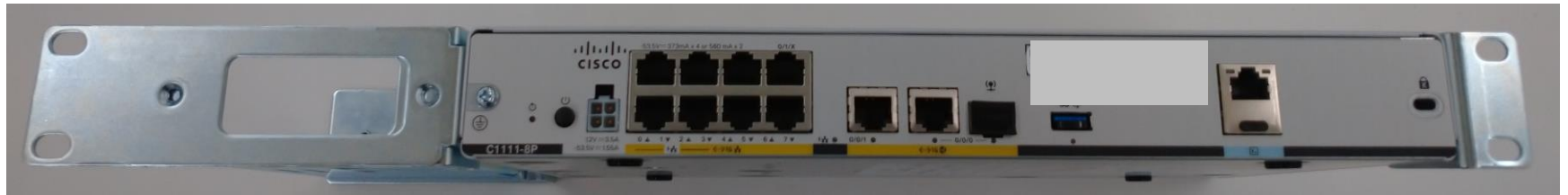
### (参考)タイプ I / II のラックマウントキット取り付け方法

タイプ I / II へラックマウントキットを取り付ける手順は下記となります

#### 手順⑤

完成(下記写真参考)

お客様の19インチラックへマウントお願い致します





## (参考)ハイエンドタイプのラックマウントキット取り付け方法

### (参考)ハイエンドタイプのラックマウントキット取り付け方法

ハイエンドタイプへラックマウントキットを取り付ける手順は下記となります

#### 付属のラックマウントキット



#### 手順①

CPE側面の該当箇所にラックマウントキットを合わせます



#### 手順②

赤枠で囲った4カ所をネジ止めします



#### 手順③

手順①-②をもう片方の側面へ実施

#### 手順④

お客様用意のラックへマウントお願い致します